

「アルゼンチンの日系人、日本ではどこで何をしているのだろうか？」

来日の動機、主な居住地、コミュニティー形成の模索、他の南米日系人や日本社会との関係、近年の新たな「日系出稼ぎ者」来日？

講師：アルベルト松本 Alberto Matsumoto (アルゼンチン日系二世、日本在住33年) <https://www.facebook.com/alberto.shunji.matsumoto>

5 南米国籍別外国人登録状況・推移

産業雇用安定センター、「日系人就業環境改善事業の軌跡」、平成16年（2004年）3月発行

	1991年	1992年	1993年	1994年	1995年	1996年	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年
ブラジル	119,333	147,803	154,650	159,619	176,440	201,795	233,254	222,217	224,299	254,394	265,962	268,332
ペルー	26,281	31,051	33,169	35,382	36,269	37,099	40,394	41,317	42,773	46,171	50,052	51,772
アルゼンチン	3,366	3,289	2,934	2,796	2,910	3,079	3,300	2,962	2,924	3,072	3,229	3,470
パラグアイ	1,052	1,174	1,080	1,129	1,176	1,301	1,466	1,441	1,464	1,678	1,779	1,895
ポリビア	1,766	2,387	2,932	2,917	2,765	2,913	3,337	3,461	3,578	3,915	4,409	4,869
合計	151,798	185,704	194,765	201,843	219,560	246,187	281,751	271,398	275,038	309,230	325,431	330,338

年 / 国籍	アルゼンチン	ブラジル	ペルー
2003	3,700	274,700	53,649
2004	3,739	286,557	55,750
2005	3,834	302,080	57,728
2006	3,863	312,979	58,721
2007	3,849	316,967	59,696
2008	3,777	312,582	59,723
2009	3,484	267,456	57,464
2010	3,181	230,552	54,636
2011	2,970	210,032	52,843
2012	2,950	192,201	49,451
2013	2,892	183,066	48,828
2014	2,915	177,704	48,228
2015	3,104	175,351	47,965
2016	3,257	183,583	48,098
2017	3,639	193,798	48,388
2018	3,835	204,347	48,816
2019	3,721	214,643	49,145
2020	3,035	208,798	48,431
2021	2,956	205,121	48,384
2022	3,151	209,430	48,914
2023/6	3,209	210,563	49,089

日本在住のアルゼンチン人に関しては、1991年から2023年6月までの統計を見る限り3000人前後で推移している。2002年から上昇し、2005年から2007年には3800人をピークに現在は3200人に落ち着いている。在住資格からみても、2500人ぐらいが日系人であると推測できる（日本人の配偶者等、定住者、永住者）。都道府県別では、神奈川県に700人超、東京都約500人、愛知県350人、静岡県250人、埼玉県と群馬県に200人前後である。関東に集中しており、約2000人になる。

出入国管理庁「在留外国人統計」
https://www.moj.go.jp/isa/policies/statistics/toukei_ichiran_touroku.html

出典：法務省入国管理局登録課

日本在住の外国人：3,075,213人（日本総人口の2.24%） 2022年12月統計で中南米出身者が27万人なので、アルゼンチン人はこれの1.2%である。



Tokio Nikkeis 東京日系人雇用サービスセンター（産業雇用安定センターと上野職業安定所の中南米日系就労者支援機関）1995年の写真、センター長やスタッフと。南米日系「出稼ぎ労働者」の通訳・相談員として週2~3日出勤。

↑ 1995年、東京日系人雇用サービスセンターの通訳・相談員
 ↓ 2001年、JICA横浜「根岸センター」での移住の日パネル



戦前（1868年から1940年まで）アメリカ大陸への日本人移住者:

- Brasil: 190,000 ●Perú: 22,000 ●Argentina: 6,000 México: 5,000 ●Bolivia: 600
 - Paraguay: 700 ●USA : 160,000 (Hawaii120,000) ●Canada 20,000
- 中南米（1940年ごろ）：230,000人 北米（米国、カナダ）：300,000人 米州大陸：53万人

戦後（1952年から1986年）

- Brasil: 53,600 ●Paraguay: 7,200 ●Argentina: 2,700 ●Bolivia: 1,900
- Rpca. Dominicana: 1,330 カリブと南米に7万人の日本人が移住

↓ アルゼンチンの日本人移住について（JICAサイト）：

https://www.jica.go.jp/Resource/jomm/outline/ku57pq00000lx4th-att/list_02.pdf



日本在住のアルゼンチン人は3,200人で、そのうち2,000人超が日系人と言える。非日系人配偶者や日系留学生等を含めるともっと多い。これらの日系人は、戦前・戦後日本から移住もしくは隣国から転住した日本人移住者の子孫である。

日本人移民の主な特徴：農業従事者が多く、協同組合（農協）や日本人会、そして県人会や日本語学校を設立する。扶助精神でニーズに対応する。農業で成果がなかったところは都市部に転住する（子弟の教育と社会進出に必要と判断）。世代が進むことによってこの傾向も高まる。高学歴 = 社会進出。しかし、今も移住地は健在であり（ボリビア、パラグアイ、ブラジル等）、日本の農業技術やインフラ整備支援等によってその国の経済発展に貢献（大豆、畜産、アグロフォレストリー等）。ブラジル、ボリビアやパラグアイの移住地は、地域開発及び食糧自給率と輸出拡大に多大な貢献をしている。

1980年代末、ラ米経済の低迷やテロ等によって日本への「**出稼ぎ（dekassegui）**」現象（日本企業の深刻な人手不足も大きな要因）」が発生→ **日本でも「南米日系社会」**が形成されるが、一部の集住都市では**ブラジル人コミュニティ**が存在する。来日30数年になるが、**社会統合への課題はまだ多い**（不安定雇用、子弟の未就学と低い高校進学率）。とはいえ、大卒も徐々に増えてきており、50代、60代の今後の老後や年金受給問題が懸念材料になってきている。2023年6月現在、ブラジル国籍が21万人、ペルー4万9千人、ボリビア6,505人、アルゼンチン3,209人、パラグアイ2,215人、ドミニカ共和国が702人である（出入国管理統計2023.6月、全外国人在留登録者は322万人）。https://www.moj.go.jp/isa/policies/statistics/toukei_ichiran_touroku.html

来日の動機：他の南米日系就労者と同様

1980年の後半から日系就労者が来日するようになるが、アルゼンチンに関しては日本人（一世）も多くその子弟（二世）は「家族滞在（訪問）」のビザで入国する。1990年の入管法改正で他の南米出身者と同様に多くの日系人が就労目的で日本に来る。現在、研修生や留学生以上に「ワーキングホリデー」ビザで152人（ほぼほとんどが非日系人と推測）が日本に滞在している。

アルゼンチン人はどこに（都道府県）居住しているのだろうか。

2022年末の統計：3,151人のうち**神奈川に706人**、東京都475人、愛知県351人、静岡県248人、埼玉県201人、群馬県178人、栃木県116人、千葉県115人。東海地方600人（20%）以外は**関東地方（56%）**に集中している。

2002年の集計：アルゼンチン登録者3,470人のうち**神奈川県に984人**、愛知県409人、静岡県355人、東京都334人、群馬県273人、埼玉県205人、千葉県171人、栃木県132人、等々である。当時も東海地方には22%ぐらいで、**関東には60%**であった。

神奈川県の**2023年1月現在の「県内の外国人数の調査結果」**では、8,606人のブラジル人、6,210人のペルー人、779人のボリビア人、**688人のアルゼンチン人**、328人のコロンビア人、272人のパラグアイ人が登録されている（南米諸国：17,035人）。<https://www.pref.kanagawa.jp/documents/97118/siryou2.pdf>
市区町村別の統計もあるが、アルゼンチン人の記載はない。

<https://www.pref.kanagawa.jp/documents/97118/siryou1.pdf> 県内外国人統計：<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/k2w/cnt/f4695/> 2000年～2023年

藤沢市外国人登録人口によるアルゼンチン人：

2007年12月：225世帯、360人（男：214、女：146）

2009年12月：208世帯、350人（男：199、女：151）

2012年12月：152世帯、264人（男：146、女：118）

2016年12月：119世帯、208人（男：108、女：100）

2020年12月：119世帯、176人（男：92、女：84）

本国に帰国した者もいれば別の自治体に転住したのかも知れないが、藤沢市に関してはほぼ半減している。

https://www.city.fujisawa.kanagawa.jp/bunsho/shise/toke/jinko/jinko/kanenbun_gaikokujin.html 2007-2020

横浜市外国人登録人口によるアルゼンチン人：

1993年4月：305人 鶴見区129人

1997年4月：224人 鶴見区89人

2001年4月：151人 鶴見区62人

2005年12月：176人 鶴見区70人

2010年12月：130人 鶴見区54人

2015年12月：115人 鶴見区45人

2020年12月：140人 鶴見区47人

2023年11月：159人 鶴見区45人

鶴見区も当初の129人から現在の45人にまで減少したことで、ほぼ三分の一になっていることがわかる。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/yokohamashi/tokei-chosa/portal/opendata/toroku04.html> 2015-2023

<https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/yokohamashi/tokei-chosa/portal/jinko/gaikokujin/> 2002-2015

<https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/yokohamashi/tokei-chosa/portal/jinko/gaikokujin/kako.html> 2001以前



2003年、キリンカップでアルゼンチン代表サッカーチームの来日でリエゾンを勤めたとき▶
数年後「TOYOTA CUP」でも来日し、横浜のスタジアムで試合が開催された。県内外の日系人も応援に行ったが、現地からやってきたサポーターのアテンドとメディア取材にも協力。



2000年ごろ、藤沢の果樹園を借りてよくこのようなアサード（アルゼンチン式のバーベキュー）が企画され、多くの同胞が集まった。柔道家でもあり、エンパナーダ職人でもあるRicardo Nakandakariさんがアルゼンチンカットの牛肉を仕入れて炭火でゆっくり焼いてくれた。↓⇒



他の日系コミュニティとどのような関係を持っているのか。

●他の日系コミュニティと違って人数が少なく、他の日系就労者とほぼ同じ自治体に居住していても一つの団地や地区に集住することはない。人数も少ないので、同胞団体もつくることはないが、当初湘南台周辺の日系アルゼンチン人はグループをつくらうとはした。湘南台駅から徒歩15分ぐらいに「La Cueva（洞窟）」というレストランがあったが、そこが日系アルゼンチン人や付近のペルー人等の溜まり場であった。エンパナーダやピザ、ミラネッサなどを提供し、カラオケでもあった。現在は存在しない。

●南米の日系人といっても、出身国や地域によってルーツの価値観や社会・家庭環境によってやはり異なる。ペルー人とブラジル人も異なるが、広大な国であるブラジルの場合、北東部、アマゾン、サンパウロ、南部の日系人はその土地の特徴などを強く持ち合わせており、日本人的な要素が残っていても生まれ育った社会環境の影響は非常に大きい。

●同胞団体がいないがため、他の日系コミュニティとは個別、個人的な関係を築いてもそれは職場や子供の学校が同じだというぐらいで、基本的にあまりオープンな関係はないと言える。親戚や本国からの友人知人関係を大事にし、今後もその系統が続くと思われる。

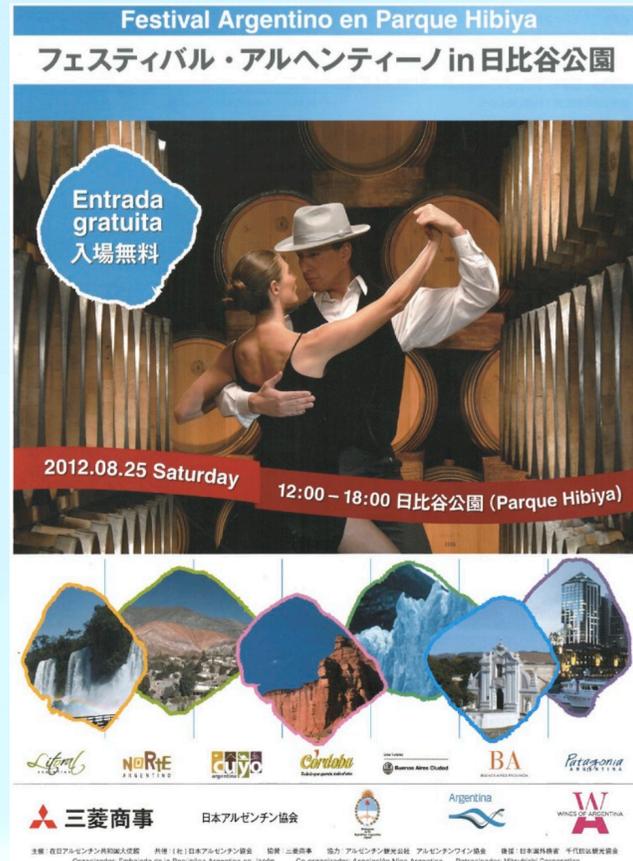
ペルー人等のさまざまなイベントに参加しても日系アルゼンチン人と会うのは珍しく、偶然でしかないかも知れない。アルゼンチン特有の「個人主義」が影響してか、集団で動くこともあまりないのである。

参考：<https://discovernikkei.org/ja/journal/2014/9/17/nikkei-latino/> 在日ペルー人とブラジル人の違い、その共通点、Discover Nikkei, 2014.9



◀横須賀市にあった「AGARI 東」という店もアルゼンチン式の肉を提供していたが、オーナーのファンカルロスさんが亡くなったことで閉店になった。

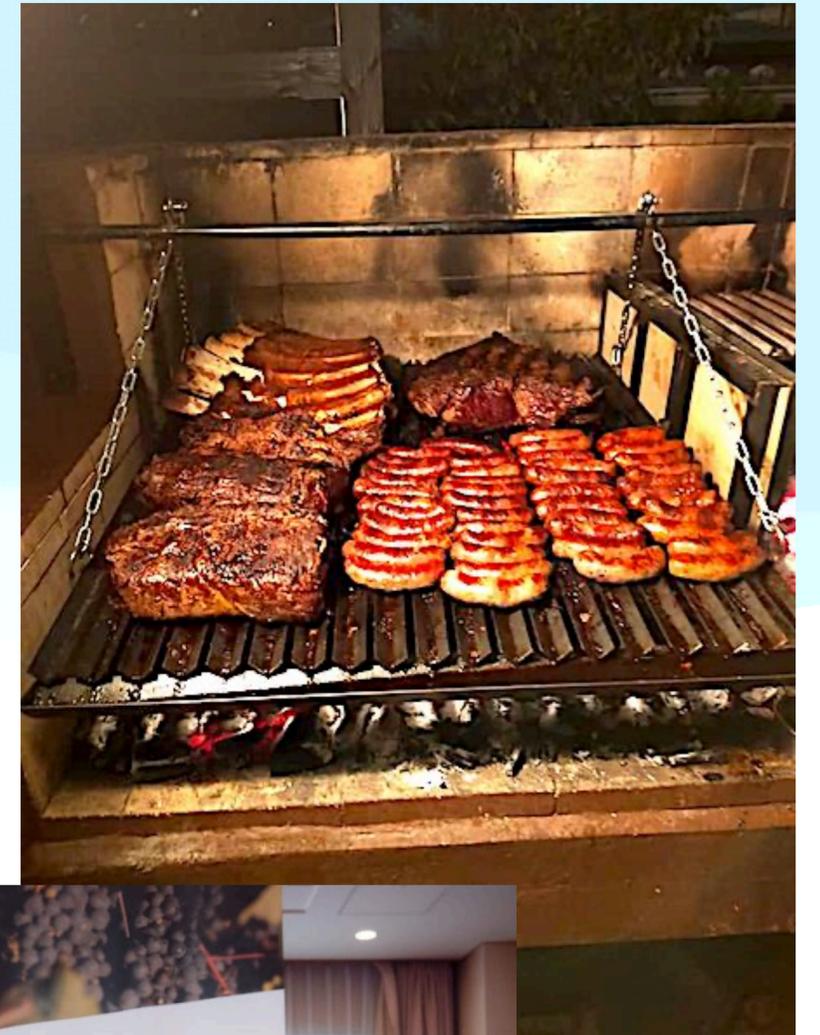
アルゼンチン人だけの日本同胞団体はないが、アルゼンチンフェスなどは企画されてきた



- 当初は、日本在住のアルゼンチン人数人で企画していた事業である。大使館も共催し、いくつかの企業がスポンサーになっていたのである。
- 日比谷公園などを毎年押さえていたこと時期もあるが、出演アーティストへの支払い問題などによって次第に大使館が主体となって企画した時期もある。お台場の商業施設で実施した時期もある。
- 神戸のフイエスタ・アルヘンティーナは今も健在である（右上写真）。
- アルゼンチン人だけで何かを企画することはそう容易いことではないようである😓。
- コロナ禍前から、大手スーパーOKが「アルゼンチンフェア」を定期的に企画しており、ワインをはじめいくつかの食材を関東地域の店舗で紹介し、販売している👍。
- Comunidad Argentina en Japon <https://www.facebook.com/groups/argentinosenjapon> 元留学生のCEGAJAのメンバーが運営しているサイトである。アルゼンチン人向けのSNS運営も難しいのである😓。
- 北海道アルゼンチン協会 ANAH 主宰：🇺🇵ロベルト徳永 <https://www.facebook.com/robertokunaga> ▶
- 日本アルゼンチン協会🇯🇵🇦🇷 <https://argentina.jp> (日本の元外交官や商社マン等の民間団体)

我々の集いは大使館主催の「建国記念日（5月25日）」

大使館ではアルゼンチン商品の紹介や試食会、試飲会も開催され、その際日本企業や関係者のなかには日系人や日本で学位をとった元留学生（非日系）の存在がある。



Presentación vinos argentinos (malbec, torrantes, etc.)
Embajada de Argentina en Tokio, Diciembre de 2021.

日系・非日系アルゼンチン人の日本社会との関係及び滞在動機とは

●日本在住の日系アルゼンチン人が大きな話題になったり犯罪容疑がかけられたこともあまりないが、20数年前には強盗殺人の事件で無期懲役になっている日系人が一人存在する（ブラジル人、ペルー人、日本人で構成していた強盗団のメンバーだった）。しかし、その他、警察白書に掲載されるような事件に関わった日系アルゼンチン人はなく、現在起訴されて服役しているの者は少ない（非日系も含むと10人前後）。

●ビジネスやアートなどであまり目立たず活躍している人は存在し、そしてあまり知られていないのが多数の日系人が在京中南米諸国大使館のローカル職員として働いていることである。日本語力及び英語力が高い日系人の一部は、留学後もしくは本国の経済低迷によって職を求めて来日したのである。

●留学後、修士号や博士号を取得したのも近年一部はそのまま日本で就職して定住している。留学生&OBの会「CEGAJA-Círculo de Estudiantes y Graduados Argentinos en Japón」も存在し、新規留学生が来日すると大使館か都内の公園で集まりマテを飲みながら交流を図り、後輩のアドバイスなども行う任意団体である。

<https://www.facebook.com/profile.php?id=100071552093744>

留学生は、日系人でない人の方が多く、このOB会メンバーもそうした人が多い。大学の教員、外資系企業や日本の有力企業で働いている者も多数いる。



ORGANIZADO POR CEGAJA

MATEADA DE BIENVENIDA 2015

BIENVENIDA A LA CAMADA DE ESTUDIANTES 2015

¡Vení a compartir como todos los años un momento entre tus compadres argentinos!

Lugar・場所: Parque Yoyogi・代々木公園

Fecha y horario・日時: Domingo 17 de Mayo desde las 14hs・5月17日14時から

Se cancela por lluvia

Ante cualquier urgencia comunicarse con Florencia Venier

Posiblemente se alargue a una cena en caso de haber participantes, y si se logra una reserva

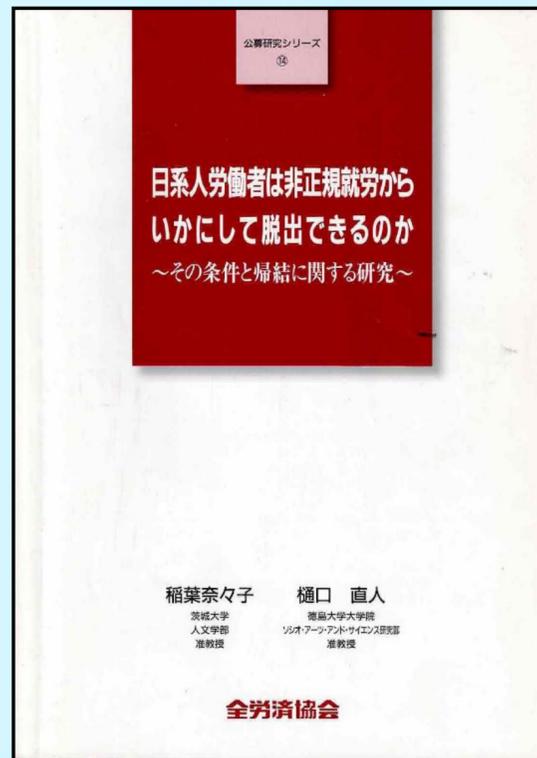


2016年5月、在京アルゼンチン大使館にて留学生と懇談する当時のガブリエラ・ミケッティ副大統領。CEGAJAとして数人推薦し、大学の同期であるガブリエラと日本で再開した。

◀ 2016年5月、当時のアルゼンチン副大統領ガブリエラ・ミケッティ氏が来日、数人の留学生と在京大使館で懇談した。ガブリエラは、ブエノスアイレスのサルバドル大学社会学部政治・国際関係専攻の同期である。日本での再会はとても嬉しい機会だった。

▲ 左上：日系アーティスト、Julio GOYAさんは沖縄に在住、小豆島にもアトリエを持つ著名な彫刻家である。Claudia OSHIROさんはよくこの関東でもライブなどを行っている日系歌手で、ときには宮沢和史氏と出演している。

左下と右▲：アルゼンチン留学生の会CEGAJAによる会合及び新規留学生歓迎のマテ会（代々木公園など）の案内である。ときには大使館で会合を設けたり、ゆるやかな任意団体である。日系・非日系を問わずこの会のメンバーになれる。



第2章：アルゼンチンから日本へのデカセギ

- 当時の統計（2008年頃）で在ア日系社会は3万5千人とされ、その3割が日本国籍を持っているとある（二世が生まれたときに一世の親が日本領事館に出生届をしていることが理由だが、そんなに多いのかは確認できていない）。戦後は、隣国やドミニカ共和国、ブラジルからの転住者が多い。アルゼンチン日系社会の7割が沖縄県出身者である。
- 鶴見区周辺に定住したのは沖縄の親戚や知人らがすでに住んでいたこともあり、そのネットワークで仕事も得て住み着いたのである。藤沢の湘南台は日産やいすゞ自動車の関連会社が多く、ブエノスアイレスの旅行会社が日系労働者の斡旋業者としてそこに事務所を置いたからでもある。鶴見では、電設業に従事したものも多く、その後独立して一人親方として起業したものが多数いる。

出所：稲葉奈々子&樋口直人、「日系労働者は非正規就労からいかにして脱出できるのか〜その条件と帰結に関する研究〜」（公募研究シリーズ（14））、全労済協会、2010年10月

本国の経済情勢の影響でまた「出稼ぎ目的」で来日増加なのか。

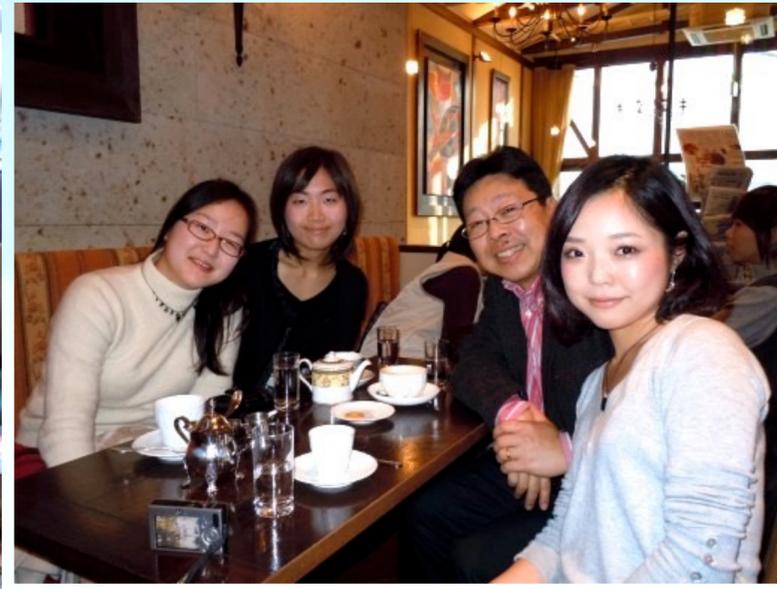
コロナ禍の影響とアルゼンチンの深刻な経済低迷でここ数年前から日系人の就労目的の渡航が徐々に増えている。SNSでもそうした広告が目立ち始めており、以前からそうした繋がりのある企業がブエノスアイレスに行って現地で面接なども行っている（コロナ禍ではオンラインで）。受入れもビザの取得から住宅の手配も含むため、来日してすぐに就労できることが多い。人手不足の業種に配属されるが、日本語があまりできなくとも月収20万円前後（1500ドル）であり、夜勤や残業をすると30万円（2300ドル相当）近くになるという。今のアルゼンチンからみると十二分に検討に与える仕事のオファーである。とはいえ、90年代のように大きなグループで来日しているわけではない。比較的若い夫婦や独身がメインで、ほとんどが日系三世で少数で来日しているという。

2023年12月からミレイ政権による大掛かりな改革や経済政策が実施されることになりそうだが、ここ数年は不況になることが予想され一定数の日系人が就労（出稼ぎ）目的で来日することになりそうだ。

アルゼンチンに留学した日本人学生（大学生、院生、高校生）

●現在100人前後のアルゼンチン国籍の留学生が日本の大学や大学院に所属している。他、150人ぐらいがワーキングホリデー・ビザで来日しているが、こうした若者の一部は留学ビザに切り替えて日本語学校に通いその後大学か大学院に進むものもいる。近年の傾向だが、大学院を得たアルゼンチン人の一部は日本で就職する。▶

●一方数は多くないが、**アルゼンチンに留学する日本人も存在する**。高校生の交換留学から大学生、大学院生の中期間留学もしくは研究留学で一定の期間ブエノスアイレスなどに滞在する人たちである。大学院生などは、学者のネットワークだけではなく日系人のツテやコネクションを活用することもあるのだ！👍



▲2010年前後、ブエノスアイレスには4人の日本人大学院生が論文のために研究していた。社会学、文化人類学、文学等から日系人もしくはアルゼンチンの外国人コミュニティを研究していた。早稲田大学、東京大学、上智大学、東京外語大出身で非常に優秀な女子集団で、なぜかそのほとんどと巡り合い、地元日系団体と交流を深め、うちの実家がブエノスの「別荘」になっていた😅。

▲こちらの3人は高校生の時に交換留学プログラムでアルゼンチンの地方に10カ月間滞在し、現地の学校で学んだのである。僕が執筆した「アルゼンチンを知るための54章」を手にした、もしくはブエノスアイレスで僕のことを聞いてメールしてきた方々である。一人は弁護士（宮田（遠藤）温子先生）になり、もう一人は昨年からNHKに就職して地方に赴任している。右の女性はまだ大学生で神戸市外大に在籍している。真ん中の陽菜ちゃんと同じコルドバ州アロジート（Arroyito）という街で留学経験を終えて今大学生である。何という偶然😅（真那ちゃんも手がかりそう）！

アルゼンチンの日系社会と日本での交流や行事参加



沖縄で開催の「ウチナーンチュ大会」、東京の「海外日系人大会」、県人会修好記念の行事、ブエノスアイレスでの日系団体や元留学生・JICA研修生団体との交流、個人的または自分のビジネス関で来日する元研修生や教え子は常に存在し、繋がりは続きます。

ご静聴ありがとうございます！
¡Muchas gracias!!

アルゼンチン日系社会を日本で紹介



2015年ごろアルゼンチン日系社会で写真撮影をしたカメラマンの田島さゆりさんは、その後この写真集を出版した。JICA横浜でも2016年に講演及び展示会を開催した。

↓ 新宿ニコンサロン (2013年)



アルゼンチン料理レストラン等

- Don Gaucho 本格アサードメニュー提供、都内の九段下駅 <https://don-gaucho.jp>
- Argentina Grill カウンター席の新宿の店 <https://www.facebook.com/argentinagrilltokyo>
- Costa Latina 南米料理等 <https://tabelog.com/tokyo/A1318/A131801/13019923/>
- La nostalgia 鎌倉市 <https://www.facebook.com/LaNostalgiaKamakura>
- Okiya House 群馬県桐生市のゲストハウス兼レストラン <https://www.okiyaguesthouse.com>
<https://www.facebook.com/okiyaguesthouse> 月に一回はアルゼンチン式のアサードメニュー、ランチではパスタやエンパナーダも提供する。タンゴショーも企画。高級マテ用容器と銀ストローも販売している。
- Escobar 愛媛県松山市のア国料理レストラン <https://escobarjp.com/about/>
<https://www.instagram.com/escobaryo35/> <https://www.facebook.com/escobar1005/>
- Peña Amancay 沖縄県那覇市 <https://tabelog.com/okinawa/A4701/A470101/47001861/>
- Caminito 沖縄県浦添市 https://www.instagram.com/caminito_urasoe/
- Raíces "Delicias Argentinas" マラのアルゼンチン料理（通販&フェア出展） <https://raices.official.jp/index.html> <https://www.facebook.com/profile.php?id=100069768517344>
- Che empanada Japan エンパナーダのオンライン販売専門店 <https://cheempanada.jp>
<https://www.facebook.com/profile.php?id=100090020807221>
- Don Rossi -アルゼンチン牛肉卸売業者 <https://www.facebook.com/donrossi.jp>
<https://donrossi.jp>
- Casa Pino アルゼンチンワイン輸入業者 <https://www.casapino.net/ja/news/2023/0001/>
- 北山商事 アルゼンチン高級ワイン輸入商社 <https://www.facebook.com/kitayama.trade>

ネットでアルゼンチンの食材等を購入できるオンライン店

- Biosophy アルゼンチンワイン、蜂蜜、ハーブティー等の輸入販売商社 <https://biosophy.jp>
OKスーパーやデパート等で定期的に「アルゼンチンフェア」を開催
- <https://kyodaimarket.com> 五反田駅に店を構えておりペルーの食材がメインであるが、アルゼンチンのマテ茶葉やマテ用の容器も売っている。

海外サイトだが、アルゼンチン食材などを購入できる：

- <https://www.argentinazo.com>
- <https://pampadirect.com>
- <https://elgauchostore.com/productos/>

Alberto Matsumoto:

- <https://discovernikkei.org/es/journal/series/nikkei-latino/?show=ja>
- <https://www.facebook.com/alberto.shunji.matsumoto>
- <https://www.instagram.com/almatsu62/>

